

**製品名: プラスミノーゲンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16241**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	90kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PLG
別名	PLG; Plasminogen
遺伝子 ID	5340.0
SwissProt ID	P00747
免疫原	ヒトプラスミノーゲンの内部領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

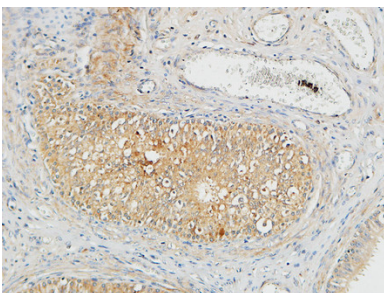
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、分泌型の血液チモーゲンであり、タンパク質分解によって活性化され、プラスミンとアンジオスタチンに変換されます。プラスミンは血栓中のフィブリンを溶解し、他の多くの細胞プロセスにおいて重要なプロテ

アーゼとして機能します。一方、アンジオスタチンは血管新生を阻害します。この遺伝子の欠陥は、血栓形成症および木質結膜炎の原因となる可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2009年12月]、触媒活性: 優先的な切断: Lys-|-Xaa > Arg-|-Xaa; トリプシンよりも高い選択性。フィブリンを可溶性物質に変換します。、疾患: PLGの欠陥は血栓形成症の原因です[MIM:188050];再発性血栓症の一種。疾患: PLGの欠陥は、木質結膜炎[MIM:217090]と関連している可能性があります。木質結膜炎は、慢性結膜炎の中でもまれな疾患で、慢性的な流涙と結膜の発赤を特徴とします。まず、眼瞼表面に偽膜が形成され、それが進行して厚い結節性腫瘍となり、正常な粘膜を覆います。偽膜は木のような質感を呈するため、「木質」結膜炎と呼ばれます。この疾患は、口腔、鼻咽頭、気管、および女性生殖管のその他の粘膜の偽膜性病変を伴う場合があります。、domain:クリングルドメインはCSPG4との相互作用を媒介する。、enzyme regulator:プラスミノゲン活性化因子によってプラスミンに変換され、プラスミノゲンとその活性化因子は両方ともフィブリンに結合している。触媒量のストレプトキナーゼによって活性化される。、function:アンジオスタチンは、in vivo で実験的な原発性および転移性腫瘍の新生血管および増殖を阻害する血管新生阻害剤である。、function:プラスミンは血栓のフィブリンを溶解し、胚発生、組織リモデリング、腫瘍浸潤、炎症など、さまざまな他のプロセスにおいてタンパク質分解因子として作用する。排卵時には、グラーフ卵胞の壁を弱める。ウロキナーゼ型プラスミノゲン活性化因子、コラーゲナーゼ、そしてC1やC5といったいくつかの補体チモゲンを活性化します。フィブリン、フィブロネクチン、トロンボスポンジン、ラミニン、フォン・ヴィレブランド因子を切断します。組織リモデリングおよび腫瘍浸潤におけるその役割は、CSPG4によって調節される可能性があります。、その他: プラスミンは、血栓から解離した直後に $\alpha$ -2-アンチプラスミンによって不活性化されます。、オンライン情報: プラスミンの進入、PTM: 阻害剤の存在下では、活性化はArg-580以降の切断のみを伴い、2つのジスルフィド結合によって結合した2つの鎖を生成します。阻害剤の非存在下では、活性化は活性化ペプチドの除去も伴います。、PTM: N結合型グリカンは、N-アセチルラクタミンとシアリン酸を含みます。O結合型グリカンは、最大2つのシアリン酸残基で修飾されたGal-GalNAc二糖から構成されます(マイクロヘテロジェニティ)。、類似性: ペプチダーゼS1ファミリーに属します。、類似性: ペプチダーゼS1ファミリーに属します。プラスミノゲンサブファミリーです。、類似性: 1つのPANドメインを含みます。、類似性: 1つのペプチダーゼS1ドメインを含みます。、類似性: 5つのクリングルドメインを含みます。、サブユニット: AMOTおよびCSPG4と相互作用します(アンジオスタチンも同様です)。、組織特異性: 血漿およびその他の多くの細胞外液に存在し、肝臓で合成されます。、

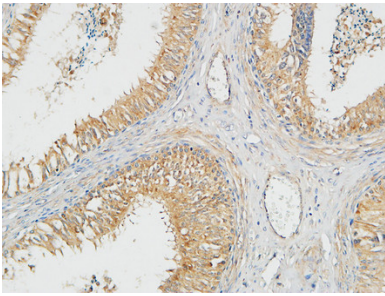
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;補体および凝固カスケード;

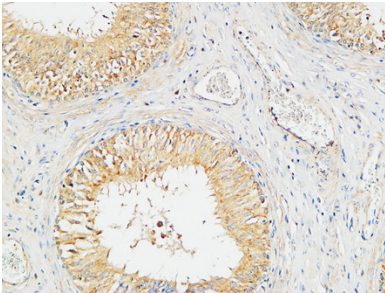
## 画像データ



パラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈した(4°、一晚)。2、高圧高温EDTA(pH8.0)を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を1:200に希釈した(室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト精巢の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト精巢の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。